



田中館愛橘 (1856-1952)

Tanaka-date-A.

写真：文化勲章受章時（昭和 19 年 4 月 29 日）題字：氏名サインとも田中館愛橘自署より



田中館愛橘会 会報 55 号

（たなかだてあいきつ）岩手県二戸市出身の物理学者。日本の理科系諸学の基礎を築く。文化勲章。文化人切手。東大教授。貴族院議員。地球物理学の研究、度量衡法の確立、光学・電磁気学の単位の研究、航空学・気象学の普及などに功績。日本式ローマ字論者。

去る 8 月 5 日、田中館愛橘会事務局長 中村 誠 様 ご逝去

長年に亘り田中館愛橘会の活動に多大なご貢献をされた、当会事務局長中村誠様が突然ご逝去されました。

中村誠さんは田中館愛橘会において、博士の顕彰と調査研究活動の中心として長年にわたり事績調査活動に取り組んで頂きました。彼の見返りを求めない＜滅私＞の原点は生まれ育ったふるさとへの想いであり、ふるさとの未来のために自分が何ができるのかを自問自答される中で、博士との出会いがあったのではないのでしょうか。



博士が生まれ育った田中館家は、相馬大作が私塾兵聖（へいせい）閣での人づくりによる国づくりを実践した実用流の気風を受け継ぎ、南部藩士で兵法師範の家柄で、幼い頃から武士的鍛錬を受けながら育ちました。維新の夜明けとともに、向学の志高く一家で上京し苦学の末、明治の新生日本の国づくりに科学の面から多大な貢献をされました。博士の生き方に気概を感じ、業績を後世に伝えていくことの重要性を認識された中村誠さんは、「惚れ込んだらまっしぐら」献身的に調査研究活動に取り組まれることに大義を見出したのではないのでしょうか。

今回の会報は、中村誠さんが昨年まとめたもので、博士の銅像建立事業の際祝賀行事の次第の中に記載しましたが、博士に関わる年表と事績を並列した形で分かり易くまとめてありますので会員の皆さん全員に是非お読み頂きたく会報に掲載いたしました。まとめたものとしては彼の最後の著作になると思います。

あと一つは彼がかなりの犠牲を払いながらまとめるまでに行けなかった「博士のローマ字日記」の解析？解説？の資料が残されております。残念ながら皆さんにお知らせするところまではまとまっておりません。

中村誠さん、長い間本当に有難うございました。長年に亘る活動に心からの感謝と御礼を申し上げます。改めて中村誠様の御霊の安らかなることをお祈り申し上げます。

田中館愛橘会 会長 工 藤 武 三

田中館愛橘会役員名簿

会長／工藤 武三	副会長／小保内道彦	久慈 浩	菅原 孝平	小松 務
理事／大西 武夫	國分巖士郎	山本 茂	田中 利見	佐々木裕子
小野寺則雄	丹野 明法	黒澤 一史	富田喜平司	田代 博之
内沢 真中	中奥 孝宏	菅 陽悦	中村 誠	田中 勝則
監事／馬場 正弘	丹野 國輔	顧問／丹野 幸男		

平成 28 年 12 月現在／田中館愛橘会 会員数 168 名 ・会報発行／年 1 回 発行予定 (印刷所：沢倉印刷株式会社)
 ・発行所／田中館愛橘会 会長 工藤 武三 TEL0195-25-5411 FAX.0195-23-3548
 〒028-6103 二戸市石切所字荷渡 6-2 二戸シビックセンター内 振替口座／02350-8-18847

6 月 20 日にシビックセンターにて第 32 回田中館愛橘会総会が開催されました

田中館愛橘会新役員名簿

会長／工藤 武三 副会長／小保内道彦 久慈 浩 菅原 孝平 小松 務
 理事／大西 武夫 國分巖士郎 山本 茂 田中 利見 佐々木裕子 生内 雄二
 小野寺則雄 丹野 明法 黒澤 一史 富田喜平司 田代 博之 田中 勝則
 内沢 真申 中奥 孝宏 菅 陽悦 中村 誠
 監事／馬場 正弘 丹野 國輔 顧問／丹野 幸男

〈議案第 1 号〉平成 28 年度 事業報告書並びに決算書の承認の件

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

◇平成 28 年度事業報告

- 4 月 19 日 理事会の開催
 5 月 21 日 田中館愛橘像建立除幕式および祝賀会の開催
 多くのみなさんのご協力をいただき、5 月 21 日シビックセンター前にて
 待望の「田中館愛橘像」除幕式がとり行われました
 6 月 21 日 定時総会の開催
 総会時に金田一歌の集いの皆さんによる献歌
 講演会の開催（総会時）
 ※演題「私費留学説を検証する」愛橘会副会長 菅原孝平 氏
 10 月 12 日 1. 田中館愛橘像建立実行委員会によるマンガ「日本物理学の父
 田中館愛橘」の出版祝賀会および贈呈式の開催
 2. 田中館愛橘博士の実績調査研究活動
 2 月 1 日 田中館愛橘記念児童生徒科学研究発表大会への協賛
 2 月 9 日 理事会の開催
 12 月 20 日 会報発行（第 54 号発行）
 12 月 3 日 田中館愛橘像建立実行委員会 解散および慰労会

平成 28 年度 田中館愛橘会決算書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

収入の部

科 目	本年度予算額	本年度決算額	比 較	摘 用
繰 越 金	112,240	112,240	0	
積立金繰入		2020,000		
会 費	540,000	392,000	▲148,000	
雑 収 入	33,000	262	▲32,738	
予 備 費	152,558		▲152,558	
合 計	837,798	724,502	▲113,296	

支出の部

科 目	本年度予算額	本年度決算額	比 較	摘 用
会 議 費	150,000	12,200	▲2,800	予算に銅像建立に伴う諸費用
総 会 費	24,000	25,378	1,378	
講 演 会 費		20,000	20,000	講師料 20,000 円
顕彰活動費	0	50,000	50,000	科学研究発表会
会報印刷費	80,000	40,000	▲40,000	会報
事務消耗品費	45,000	92,144	47,144	
通 信 費	45,000	46,653	1,653	
事 務 局 費	120,000	120,000	0	
予備費記録保存		20,000	20,000	
振替手数料	15,000	8,660	▲6,340	
交 際 費		19,855	19,855	
合 計	344,000	454,890	110,890	

収入合計	支出合計	余剰金 = 次期繰り越し金	
724,502	454,890	269,612	

田中愛橘顕彰銅像建立実行委員会より

別途積立金	2,462,976	
-------	-----------	--



日本物理学の父、種まきの翁

田中館愛橘 (たなかだて あいきつ)

TANAKADATE AIKITU
1856(安政 3) 年－1952(昭和 27)年

二戸市出身の地球物理学者、二戸市名誉市民、
東京大学名誉教授、文化勲章(航空学・物理学) 文化人切手、
貴族院議員、日本式ローマ字論者、メートル法、等

田中館愛橘は、サムライの子として生まれました。しかし 12 歳の時に明治維新が起こり、日本は新しい時代になりました。世界に目を向けると、日本は西洋諸国の科学力や工業力に大きく遅れていることに気づき、時の政府は危機感をつのらせました。世界に伍するためには近代化が急務として、「文明開化」の名のもとに日本の西洋化と国力の向上を目指しました。『国家としての日本』が、西洋諸国と対等になるために「富国強兵」を謳います。せめて上辺だけでも近代化をと「鹿鳴館」で歌い踊ったりもしました。そんな時代に青年だった愛橘は、一体どんなふう生きようとしたのでしょうか。

◆ サムライの子 ◆

田中館愛橘は江戸時代の 1856(安政 3) 年に陸奥の国福岡(現岩手県二戸市)で生まれました。愛橘のお父さんは藤蔵(のち稲蔵)といい、南部藩のお役人でした。田中館家は武士の訓練などをする軍師の家柄でしたが、藤蔵の父親が若くして亡くなったため、ひいおじいさんが家系が絶えぬようにと結婚を急がせました。

藤蔵は 16 歳で、吞香稲荷神社の小保内キセ

(14 歳) と結婚をしました。やがて生まれた長男が、愛橘です。

愛橘は 5 歳の頃からお母さんに文字を習い始めたといっています。

6 歳の時にお母さんが病死し、悲しくて声をあげて泣いていると、「武士は、母が死んだくらいで泣いてはいけない。泣くな」と父藤蔵にきつく叱られました。

けれども大好きな母を思うとどうしても涙が止まらず、奥の部屋で隠れるようにして声を殺して泣いたといっています。

お父さんは愛橘をサムライとして厳しくしつけました。人前で母を語らなかった愛橘少年でしたが、晩年になって「人生で、母の死が一番悲しかった」と言っています。

愛橘は「負けん気」の強い、元気な子供でした。あるとき腕白が過ぎ、反省のため



西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1853	嘉永6				ペリーが浦賀に来航する(黒船)・クリミア戦争が起きる
1854	嘉永7 安政1		父藤蔵(16歳)、母キセ(14歳)結婚 ※田中館藤蔵(1839~1883)	※藤蔵の父は連司、祖父は彦右衛門 ※父の蓮司は藤蔵9歳の時没	日米和親条約が結ばれる オーム没(1789~ドイツ) 山川健次郎誕生(~1931日本)
1855	安政2				ユーイング誕生(~1935イギリス) 菊池大麓誕生(~1917日本)
1856	安政3	0	愛橘陸奥国二戸郡福岡町に、田中館藤蔵、キセの長男として誕生		アボガドロ没(1776~イタリア)
1857	安政4	1			インドでセポイの反乱起きる
1858	安政5	2	田中館彦右衛門病没(11、行年74)	小保内孫陸と長州の小倉健作が福岡で結社会輔社を興す	
1859	安政6	3	羊次郎誕生?(愛橘実弟)	小保内定身帰郷	ダーウィン(イギリス)が進化論を発表する
1860	万延1	4		常州の吉田房五郎会輔社で教える	桜田門外の変 ルノアール(ベルギー)がエンジンを発明する パスツールが微生物の自然発生説を否定する
1861	文久1	5	叔父小保内定身に和漢の書を授けられる		アメリカで南北戦争がはじまる 藤沢利喜太郎誕生(~1933日本)
1862	文久2	6	(旧暦8/12)母キセ没 國分エキ継母となる	小保内孫陸、定身親子が稲荷文庫を設ける(蔵書二千余冊)	パークス(イギリス)がプラスチックを発明する
1863	文久3	7			アメリカで奴隷解放令が發布される
1864	元治1	8	下斗米軍七に就き武芸を、欠端武敏に就き書を学ぶ、 甲子郎誕生(弟)		
1865	慶応1	9	藩校令斉場に入り文武の学を修める	藩立郷学校令斉場開校	メンデル(オーストリア)が遺伝の法則を発見する 長岡半太郎誕生(~1950日本)
1866	慶応2	10	羊次郎没(愛橘実弟)		福沢諭吉西洋事情 ショールズ(アメリカ)が実用的なタイプライターを発明する

に蔵に閉じ込められました。その時大きな地震が起こったので家人が慌てて蔵をあけると、愛橘少年は床に耳を当てながら、「やあ、今の地震は南からやってきた。きっと江戸の地震だべ」と怖がりもせず大声で言ったといいます。

天気のいい日は縁側に正座し、大きな声で教科書を読みました。

自然の中で遊ぶことも大好きで、トンボとりの名人でした。



9歳の頃には会輔社という武士の塾に入り、文武両道を極める武士として厳しく仕込まれます。習う武術は相馬大作の「実用流」といって、どんな時でも相手を倒せるように「訓練は常に真剣勝負」でした。刀はもちろん、馬に乗り、鉄砲を撃ち、厳しい訓練に耐える力を鍛えました。学問にも真面目に励み心身ともに強くたくましい、誠実で飾り気のない「質実剛健」の侍になろうとし、死んだ時には「恥」をかかぬようにと、どんな寒い時でも水で顔を洗いました。

しかし、愛橘少年が12歳の時、明治維新が起こってサムライの時代は終わりました。世の中が大きく変わって武士は失職し、盛岡藩は賊軍と呼ばれて殿様は白石に移されます。武士たちは刀を失い、大きな恥辱に耐えなければならませんでした。

◆ これからは学問の時代 ◆

父藤蔵は、南部の殿様をお守りしようと働く一方で、新しい世でどう生きるかを考えていました。愛橘少年は勉強のため盛岡に出て、14歳の時には作人館という士族の学校に通いました。同期に、原敬(はら・たかし、後の総理大臣)や佐藤昌介(さとう・しょうすけ、後の北大総長)、また下級生に新渡戸稲造(にとべ・いなぞう、後の教育者、思想家)など、後に立派な働きを残す若者たちが勉学に励んでいました。

文明開化の波は東北にも及んでいました。ちょんまげのまま作人館に通っていた愛橘でしたが、あるとき仲間たちから「時代遅れの愛橘のまげを切つてしまえ」と組み敷かれ、とうとうちょんまげを切られてしまいます。

この時のことを愛橘は、「腰のもの(刀)を奪われ、まげまで切られた。武士の魂を奪われたようで本当に悲しかった」と残しています。

新しい時代をどう生きるか、誰もが悩んでいました。その内に原や仲間たちは、どんどん東京へ出ていきます。自分も東京に出たいと父に訴えましたが、なかなか承知してくれません。

愛橘が16歳になったころ、父は「一家で東京に移住する」と決心しました。東京に

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1867	慶応 3	11			大政奉還、王政復古の太号令 ノーベル(スウェーデン) がダイ ナマイトを発明する キュリー夫人誕生 (～1934ポー ランド) ファラデー没 (1791～イギリ ス)
1868	明治 1	12	福岡の学校閉じられる	8 月戊辰戦争、盛岡藩秋 田で戦闘 奥羽列藩同盟 盛岡藩降伏(9/25)最後の 賊軍、戊辰戦争終わる 盛岡藩賠償金 7 万両、白 石へ転封	明治維新がはじまる 五箇条のご誓文 江戸、東京となる 大森房吉誕生 (～1923日本)
1869	明治 2	13	盛岡に出て照井全都に就き経書を 学ぶ	2 月黒羽藩大関氏の取締 を受ける、9 月三戸県と なる、1 1 月江刺県と斗 南藩に分割	版籍奉還 スエズ運河開通
1870	明治 3	14	盛岡藩校修文所に入学、和漢の学 を修める、父藤蔵藩兵となり、一 家盛岡に住む(2) ※藩主 南部利恭 (としゆき) 7 月に版籍奉還し東京に移住、華族 となる	江刺県の学校、寸陰館の 福岡出張所設立、福岡代 官所廃止 廃藩置県を願い出て、盛 岡県に	平民の苗字を許す 人力車の発明 本多光太郎誕生 (～1954日本) 木村栄誕生 (～1935日本) 今村明恒誕生 (～1948日本)
1871	明治 4	15	修文所を退き、太田代恒徳の塾に 入り漢学を学ぶ ※愛橘学友3人にちょん髷を切ら れる	二戸郡は 7 月八戸県に、 1 1 月青森県になる 府県統合、二戸郡→青森 県、旧盛岡藩領→盛岡 県、旧仙台藩領→一関県	廃藩置県がおこなわれる 斬髪、廃刀を許す 洋服普及し始める ドイツ帝国が成立する
1872	明治 5	16	一家、東京に移る(6/11→7/15)、 三田功運町に住む、 慶應義塾に入り英語を学ぶ(9)	田丸卓郎誕生 盛岡県岩手県に改名	新橋、横浜間に鉄道が開通する 学制頒布、戸籍簿作成 改暦が行われる→明治五年 (1872) 十二月三日を以って、 明治六年 (1873) 一月一日とす る 東京・大阪間電信開通
1873	明治 6	17	慶應義塾退学、フェントン夫人に 就き英語を学ぶ(11)	福岡小学校創立 (竜岩寺 で開校、その後代官所跡 に移る)、小野三十郎東 京で鉄道に乗車する	仇討ちを禁ずる
1874	明治 7	18	外国語学校の一部たる英語学校に 入学(3)		東京警視庁創設 大阪・神戸間鉄道開通。

行った盛岡藩主に供として尽くそうとしたことと、「これからは学問の時代だ。子供たちにきちんと勉強をさせよう」と考えての事でした。

父は二度と戻らぬ覚悟で家や畑を売り払い、これからの資金にあてました。龍岩寺にあったお墓まで整理して、一家は東京へと旅立ちました。

◆ 学ぶのも実用流 ◆



1872(明治 5)年 6 月、一家は東京三田に移り住みます。このころの日本には、西洋の学問がほとんど輸入されていなかったため、西洋の言葉を知らない者には教科書を読むことさえできませんでした。

愛橘は、まず英語を覚えようと慶應義塾に入学しました。ところが、一年も通わぬうちに月謝が大きく値上がりしてしまい、やむを得ず中退します。

父は生活のために商売を始めましたがうまくいきませんでした。「いわゆる武士の商法で失敗した」と愛橘は残しています。

1874(明治 7)年、愛橘は外国語学校英語科へ入学します。英語の教師はフェントンというイギリス人でした。愛橘はフェントンと親しくな

って、いつしか彼の趣味であった昆虫採集なども手伝うようになりました。愛橘の案内でフェントンは二戸までやってきて、折爪岳などで昆虫採集を行いました。折爪岳で蜂に刺された初の外国人といわれています。

同行の間中ずっと英語も学べるという、まさに一石二鳥の「実用流」勉強法でした。

1875(明治 8)年、父藤蔵は二人目の妻(エキ)が病死したこともあって、愛橘一人を東京に残して、一家で福岡に帰りました。

◆ 開成学校の出会い ◆

1876(明治 9)年、愛橘は東京開成学校予科に入りましたが、当時は学校制度そのものも定まらず、学校組織も様々に変わりました。開成学校はやがて東京大学予備門となり、のちに本科は東京医学校を合わせて東京大学へと発展していきます。

この開成学校で愛橘は恩師山川健次郎(やまかわ・けんじろう)に出会います。わずかに 2 歳年上の山川でしたが、アメリカで西洋工学と科学を学んで帰国、日本人で初めて理学博士になった 5 人の内の一人という英才でした。

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1875	明治 8	19	継母エキ病死 小保内キタ継母となる	16ヶ村が御山・漆沢・ 浄法寺・駒ヶ嶺・大清水 の5村となる	苗字をつけしむ 東京 (中央) 気象台設置 欧州を中心に17カ国でメートル 条約締結、国際度量衡標準局 (BIPM) 設立 度量衡取締条例公布
1876	明治 9	20	東京開成学校に進入、予科 3 級に 編入(9) 父藤蔵、甲子郎、福岡へ帰る (9 /20) のち後妻にキタ	岩手県に編入、蛇沼政恒 らが東京から歩いて羊を 連れてくる。綿羊の飼育 を始める。 この年国産初の軍艦清輝 進水す。	日曜を休日、土曜を半休とす 京都・大阪間鉄道開通 ベル(アメリカ) が電話機を発明 する マックスウェル没 (1831～ス コットランド)
1877	明治 10	21	(東京開成学校予科廃止され、4 月東京大学予備門と改称) ※予備門の制服制帽が嬉しく、休 暇時に福岡まで歩いて帰る、7月 フェントン、石川千代松を同道帰 省		東京大学、学習院創立 全国にコレラ流行し、死者6817 人 洋菓子店出現
1878	明治 11	22	東京大学理学部入学本科一年生(9) 父藤蔵を稲蔵に改名 藤蔵岩手県福岡二等戸長に任命さ れる 寅士郎誕生 (8/23) ※夏休み帰郷	会輔社私学校設立、下斗 米、上斗米の各小学校設 立 蛇沼政恒上斗米に牧羊場 を作る	(米国より物理学教師メンデン ホール、英国より機械工学教師 ユーイング来日(11)) 寺田寅彦誕生 (～1935日本)
1879	明治 12	23	(5/1) 下斗米与八郎、田中館家の 元屋敷買受これに住む 7月フェントン、石川千代松を同 道帰省 稲蔵二戸郡書記長として二戸郡役 所に勤務	二戸郡役所設立(現二戸農 村勤労福祉センター)	エジソン(アメリカ) が電球を発 明する リンデ (ドイツ) が家庭用冷蔵庫 を発明する アインシュタイン誕生 (～1955 スイス) ラザフォード誕生 (～1937イギ リス) 相原四郎誕生 (～1911日本)
1880	明治 13	24	5月までメンデンホール指導の下 に東京の重力測定(2) 富士山の重力測定 (8) ※12月25日理学部ニュートン祭始 まる		このころ自転車普及始まる 日本地震学会創立 ウェゲナー誕生 (～1930ドイ ツ)
1881	明治 14	25	札幌の重力測定(8)		(メンデンホール解任帰国、ユー イング物理学の授業担任(6)) 東京に警視庁を置く 東京大火

山川は会津(今の福島県)出身で、明治維新の戦いに敗れたサムライの子であり、最年少の白虎隊員だったが、利発であったため死なせるにはあまりに惜しいと白虎隊から外されたと言われています。

共に「賊軍」の汚名で呼ばれたという、似た境遇も手伝ってか、愛橘はよく目をかけてもらいました。山川の考え方や人柄に触れ、愛橘は大きな影響を受けました。



(上の写真は開成学校)

はじめは、お国のために立派な政治家になろうと考えていた愛橘でした。

ところが、「日本独自の文化を築き、世界に示さねばならない。単に欧米を真似するだけでは意味がない」という山川の教えに感動し、これからの日本に本当に必要なのは物理学だと考えるようになります。

愛橘は「落第しては大変」と徹夜もいとわず、時には卒倒することさえあったほど必死で勉強をし、ついには体調を崩してしまいます。それでも愛橘は体にいいと聞いた肝油を、苦い味も厭わず、「味噌汁に入れ、ご飯にかけて」頑張り抜いたといいます。

いよいよ本科に進むとき、愛橘は進路で悩みました。近代物理学はそれまでの日本になかった新しく「儲からない学問」だと言われていました。父や家族が自分の学問のために財産の多くを割いてくれた。家族のためにも官吏になり、早く出世をしなければいけない。

「物理がやりたい」とは中々言い出せない愛橘でしたが、ついに決心し、手紙で思いを伝えます。

「父上様、これからの日本には物理学が必要です。けれども私が物理を選べば田中館の家名をあげることはできません」

父からの返信にはこうありました。

「家名のことなど気にするな。お前の信ずる道に進め。お国の役に立つならそれでよい。ただし、やるからにはしっかりやれ」

晴れて父の許しを得て物理学を選んだ愛橘でしたが、仲間たちは「おいおい、物理なんか選んで、一体どうやって飯を食っていくというのだ」といつてからかいました。

愛橘は「飯は茶碗とはして食う。心配無用！」と答え、すましていたといいます。

◆ 東京大学とお雇い外国人教師 ◆

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1882	明治 1 5	26	東京大学理学部卒業、準助教授に任ぜられる(7) 理学部学生を率いて、鹿児島、沖縄の重力測定(8)		コッホ (ドイツ) が結核菌を発見する ダーウィン没 (1809～イギリス)
1883	明治 1 6	27	帰省(7) 父君郷里において没(12/5) 東京大学理学部助教授に任ぜられる(12) 電磁方位計考案	二戸郡病院設立 (現国香 歯科クリニック) 金田一小学校設立	(ユーイング解任帰国(6)) (英国より物理学教師ノット来日(9)) スワン(イギリス) が人造絹糸(レーヨン) を発明する 天気予報業務の開始
1884	明治 1 7	28	小笠原島の重力測定 (8) ローマ字会設立 (12) ※愛橘、この頃鹿鳴館で、歌う	会輔社解散 下斗米秀三誕生 (6/11) 東京鹿鳴館に仮装舞踏会 盛行 華族令制定、夫人の洋装 盛んとなる	イーストマン (アメリカ) が巻き 取り式写真フィルムを発明する ウォーターマン(アメリカ) がインク漏れのない万年筆を発明する ニブコー(ドイツ)が機械式のテレビを発明する
1885	明治 1 8	29	(9月理学部校舎神田一ツ橋より 本郷本富士町に移籍する) 愛橘、理学協会雑誌16巻に「本会雑誌を羅馬字にて発兌するの発議及び羅馬字用法意見」を、17巻に「発音考」をのせる		日本メートル条約に加盟 羅馬字会設立 (外山正一、矢田部良吉ら)
1886	明治 1 9	30	帝国大学理科大学の助教授となる(3) Romazi Sinsei発行(5) 愛橘「日本式ローマ字」羅馬字会の総会に提出するも否決される 愛橘日本式ローマ字で「Ro^mazi Sinsi」 発刊→明治21年第18号まで		帝国大学令公布 (東京) 帝国大学創立 (東京大学廃止され、帝国大学となる(3)) メートル条約・万国赤十字条約加入 ダイムラー (ドイツ) が四輪自動車を作り出す
1887	明治 2 0	31	11月まで日本全域の地磁気測定に当たり、日本南半分及び朝鮮南部を受け持つ(6)		
1888	明治 2 1	32	衣願免本官 電気学及び磁気学修業のため英国グラスゴー大学入学(1) ケルビン卿に師事 ※移動は40日余りの予定だったが、大学への到着は61日目だった。	岩谷橋がかかる ←英国へはフランス船サンド号に乗るも、神戸でとり残され、上海で追いつく	ダンロップ(イギリス) が空気タイヤを発明する ベルリナー(ドイツ) が円盤型レコードを発明する 磐梯山噴火 東京天文台設立

東京大学は 1877(明治10)年4月、神田一橋に日本に初めて出来た総合大学(理学部、法学部、文学部、医学部と予備門)で、日本の国力向上のために官吏や必要な人材を育てることを急務としていました。

けれども、西洋の学問を教えられる日本人はわずかだったため、時の政府はふたつの緊急対策をとりました。一つは優秀な人材を西洋に留学させること。もうひとつは外国人教師を日本に招き、日本人に教えてもらうことでした。



山川 健次郎

1878(明治11)年9月、愛橘は改変によって出来たばかりの東京大学理学部に一期生として入学します。

理学部では山川健次郎が物理を、菊池大麓(きくち・だいろく)が数学を教えることになりましたが、それ以外の教師12人はみな「お雇い外国人教師」でした。近代物理学を日本に広めるには破格な給料を払ってでも日本に来てもらえる外国人の力に頼るほかはありません。一日も早く「日本人が、日本人の力で、日本人に西洋物理学を教えられるようにならねば」と必死の時代でもありました。

出来たばかりの東京大学への入学者は90名あまりで全員が寮に住みました。その費用は国が持ったため、試験に落第すると退学させるという厳しさでしたから、大学を卒業できたのはわずかに32名だったといえます。

理学部「数学、物理学、星学科」第一期生の合格者は、藤沢利喜太郎(ふじさわ・りきたろう、のち数学へ)、田中正平(たなか・しょうへい、のち物理学へ)、田中館愛橘、隈本有尚(くまもと・ありたか、のち星学へ)の4名でした。

◆ メンデンホールと重力・地磁気測定 ◆

田中館が入学した翌月(1878年10月)、アメリカからモースの推薦によってトマス・メンデンホール(1841-1924)が、イギリスからケルビン卿の推薦によってジェームズ・ユーイング(1855-1935)という二人の物理学者が日本にやってきました。教授であった山川や菊池は大学の組織作りなどもあり、授業の多くはメンデンホールが物理学、ユーイングが機械工学の講師を務めました。

西洋の近代物理学はそれまでの日本にほとんど伝わっておらず、愛橘たちは全く初歩から学び始めました。日本の物理学は、実験器具などの取扱いさえままならない、いわばよちよち歩きの状態から始まりました。

山川健次郎教授の報告書によると、『授業は講述・講義・実験の三とし、毎週二十ないし二十一時間。但し多くは数学・科学等の他科に要し、物理学の講義には六時間だけだ。しかし生徒は好んで物理を学び、課外時間にも実験を行ったので、特に進歩は著しい。』

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1889	明治 2 2	33		御山・漆沢・浄法寺・駒ヶ嶺・大清水が合併して浄法寺村となる	大日本帝国憲法が公布される 東海道本線全通 磁歪の研究 (長岡半太郎) ジュール没 (1818～イギリス) 第 1 回国際度量衡(CGPM) 開催
1890	明治 2 3	34	ドイツ・ベルリン大学へ(4)転学	東北本線盛岡まで開通(11月)	第一回帝国議会開く 東京・横浜間電話交換業務開始 教育勅語の下賜 仁科芳雄誕生 (～51)
1891	明治 2 4	35	帰朝(7/14)帝国大学理科大学教授に任ぜられる(7/22) 理学博士の学位授与(8) 濃尾大地震 (10/28) 震源地に出張 根尾谷の大断層発見(11) 愛知の他 4 県の地磁気を測量(12)	東北本線青森まで開通 福岡駅開設 1 2 月 2 0 日 小野三十郎尽力す ※盛岡ー上野間は 1 7 時間 5 5 分	(ノット解任帰国(6)) 濃尾大地震 (10/28) ジュドソン(アメリカ) がファスナーを発明する・リリエントール(ドイツ) がグライダーで飛行実験を行う 電気試験所設立 度量衡法制定 (尺貫法が主)
1892	明治 2 5	36	文部省震災予防調査会創立され委員となる(6)		デュワー(イギリス) がまほうびんを発明する
1893	明治 2 6	37	本宿キヨ子と結婚(4/6)、婚姻届けは6/12 吾妻山爆発調査のために出張(5) 明治 2 9 年まで、四年間夏期休業中に震災予防調査会の全国地磁気測量を行う		度量衡法施行 ヘディン (スウェーデン) がシルクロードの探検を行う
1894	明治 2 7	38	長女・美稲子誕生(3/5) 産後の病により夫人逝去(3/15) 電気力及び光力本位取調委員(4) 酒田地方大地震あり調査のために出張 (10) 万国測地学協会委員(11) 明治 2 9 年まで、四年間夏期休業中に全国の地磁気測量		日清戦争がおきる
1895	明治 2 8	39	明治 2 9 年まで、四年間夏期休業中に全国の地磁気測量		レントゲン(ドイツ) が X 線を発見する マルコーニ (イタリア) が無線電信機を発明する リュミエール兄弟 (フランス) が世界初の映画を公開する

初めの数ヶ月は物理学実験初步の練習、測定機器の実用、最小自乗法による観測法及びその結果を詳しく調べた。学年終わりの数ヶ月は熱論を学び、物体膨張の現象について極めて精密な試験を行った。八月上旬生徒は富士山に登り、山頂にて学術上有用かつ貴重なる幾多の実験を行う事ができた』とあります。

つまり愛橘達は、まず基本から始まり、時を忘れて熱心に物理学の実験に取り組んだ事がわかります。何もかもが初めの時代でした。実験器具の取り扱いなどにも慣れると、メンデンホールは、学生たちに天測理論と実施測定を指導します。

1880(明治13)年には東京と富士山頂とで重力の違いを測定し地球の平均密度を算出するなどの研究を通じて、愛橘を地球物理学者へと導いていきます。メンデンホールは日本の重力や天文、気象の観測を行うほか、日本の地震の多さに注目して、日本地震学会の創立にも貢献するなど、日本の地球物理学誕生のきっかけを残しました。

1881(明治14)年メンデンホールがアメリカに帰国すると、日本の重力測定は田中館に引き継がれます。後に愛橘はノット(1856-1922)と共同で日本全国の地磁気測定を行い、1888年には報告書を出版し、愛橘の研究は各国からも高い評価を受けました。

◆ ユーイングと地震計 ◆

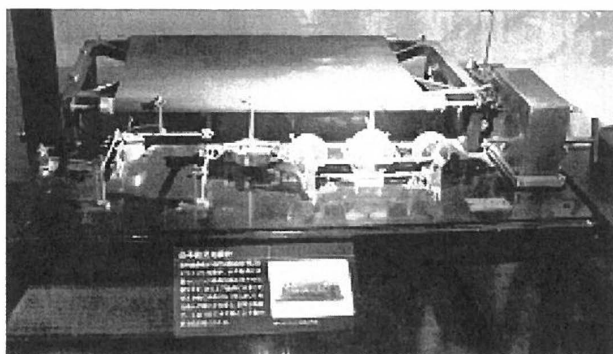


メンデンホールの帰国後は機械工学を担当していたユーイングが物理学担当となりました。ユーイングはエジソンの録音機を日本に初めて持ち込んだ人と言われ、田中館はここで音響や音韻についても学びました。一説には、これがローマ字研究のきっかけになったともいわれています。(写真はユーイング)

またユーイングは水平地震計を作っています。この頃は、実験の機械も自分たちで作っていた時代でした。のちに教授になった愛橘は「あれが無い、これが無いと言うな」「求めよさらば与えられん」。と学生に示し、創意工夫を求めたと言いますが、原点にはユーイングの影響があったことでしょう。

地震の研究は日本独自のものでしたが、地震の大きさをの区分(強震、烈震など)や、それをどうやって正確に比べるか、何を調べれば地震がわかるかなど、手探りの工夫からすべてが始まっています。

後に愛橘は、田中館式地震計を作っていますが、現在東京上野の国立科学博物館にその地震計が展示されています。(上図・国立科学博物館)



西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1896	明治 29	40	大森教授海外出張につき地震学講座分担(5) 電気事業取調委員(12) 明治 29 年まで、四年間夏期休業中に全国の地磁気測量	三陸沖地震、津波 (6/15) 釜石東方沖震源、M7.6、津波 (死者 18,158 人、流出倒壊家屋 6,882 戸)	第 1 回近代オリンピックギリシャで開催 ベクレル(フランス) がウラン放射能を発見する 日本地質学会創立 ノーベル没 (1833~スウェーデン)
1897	明治 30	41	長野地方に地震があり調査のため出張(4) 大森教授帰国につき地震学講座分担解任(12)	弟甲子郎北海道で行方不明に、死亡とみなさる	(帝国大学廃止され、東京帝国大学と改称(6)) 帝国図書館設立 京都帝国大学設立 ディーゼル (ドイツ) がディーゼルエンジンを発明する J.J.トムソン(イギリス) が電子を発見
1898	明治 31	42	測地学委員会委員(5) シュツトガルト市における万国測地学協会第 12 回総会列席 木村栄同道(10) * 国際会議に出席した最初) 欧米各国差遣(10)		東京・大阪間長距離電話開通 キュリー夫妻 (フランス) がラジウムを発見する パウルセン (デンマーク) が磁気録音機を発明する
1899	明治 32	43	帰国(2) 土族に復属 (7/19)	水沢緯度観測所創立	義和団事件がおきる八ヶ国連合軍の勝利 「日本」・「ロシア」・「イギリス」・「フランス」・「アメリカ」・「ドイツ」・「イタリア」・「オーストリア」・「ハンガリー帝国」
1900	明治 33	44			アンシュッツ(ドイツ) がジャイロコンパスを発明する 工業試験所設立
1901	明治 34	45	※12月8日自転車 (米国製) を始める 第 3 回国際度量衡総会 (CGPM) に出席	県立福岡中学校(現在の福岡高校) 創立	カトウ・サトリ(日本) がインスタントコーヒーを発明する ブース(イギリス) が電気そうじ機を実用化する ジレット(アメリカ) が安全カミソリを発明する 高峰譲吉 (日本) がアドレナリンの結晶化に成功する
1902	明治 35	46	特に勲四等旭日小綬章を授けられたことにより、学生らがその祝賀会を開く(2) 鳥島噴火観察のため出張(8)	緯度変化の Z 項発見 (木村栄)	木村栄、z 項を発見する キャリア (アメリカ) がエアコンを発明する

二人の優秀なお雇い外国人教師に恵まれた愛橘は必死で物理学を学びましたが、ただ学ぶだけではなく、「西洋の近代物理学」をいかにして日本に広め、いかに短期間で日本人に教えていくのが急務の時代でもありました。

日本人に効率よく学んでもらうためには、これから英語やドイツ語、フランス語を学んでいてはおぼつかなく、物理学に関わる人々の努力によって用語の日本語化が実行されました。愛橘も翻訳の編集委員として参加しています。

何もかもが手探りで、日本がやっとよちよち歩きを始めた時代でした。例えば「電気」という言葉もこの頃作られた言葉です。また、数学、経済学などで現在普通に使われている多くの言葉も明治期に日本語として生み出されています。

明治の人々は一日も早く『西洋に追いつき追い越せ』と必死で取り組んだのです。

田中館愛橘は、「日本で」（お雇い外国人教師から）初めて近代物理学を学び、初めて教官になった人」であり、「日本語で近代物理学を日本に広め、多くの物理学者を育てた人」です。愛橘は、西洋の近代物理学を最速で日本に輸入、定着させることが仕事であり、日本人物理学者を育てて日本の近代化に貢献させることが望まれた立場でした。「今やらねば殺されると思え」という、実用流の教えが愛橘を支えたのでしょうか。

◆留学そして教授に◆

1882（明治 15）年、東京大学理学部を卒業した愛橘は、すぐに准助教授に、更に翌年には助教授に任じられました。この頃の愛橘は日本各地の重力測定を行い、日本の地球物理学の基礎を築いています。

お雇い外国人講師によらない、日本の近代物理学がはじまる一方で、いかに 100 年遅れている日本のレベルを世界レベルに引き上げるかが大きな課題でもありました。

1888（明治 21）年、愛橘は文部大臣森有礼（もり・ありのり）の辞令を受け、イギリス・グラスゴー大学へ公費留学します。「電気学および磁気学修業」がその目的でした。グラスゴー大学で愛橘は、当時世界最高と言われた物理学者ケルビン卿（ウィリアム・トムソン）に学び、大きな影響を受けています。

ケルビン卿を生涯の師と仰ぎ、学生たちに「こんなときケルビン博士は…。」と言って、授業を進めたといひます。

留学 3 年目にはドイツベルリン大学に転学し、1891（明治 24）年に帰国します。同年、田中館愛橘は理学博士の学位を受け、35 歳で東京大学教授となりました。

◆濃尾大地震◆

留学から帰国し、教授となった愛橘を待っていたかのように、岐阜、名古屋地方に大地震が発生します。濃尾地震といわれたこの地震は、マグニチュード 8.0 で、当時内陸最大と言われ、名古屋城の一部が崩れ、長良川の鉄橋が落ちたほどの大地震でした。

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1903	明治 3 6	47	ストラスブルグ市における万国地震学会議創立委員(7) コペンハーゲン市における万国測地学協会第 1 4 回総会に列席(8) 帰国(9)		ライト兄弟(アメリカ) が飛行機を発明する 長岡半太郎(日本) が原子構造の研究をする 小学校国定教科書制度公布 パブロフ (ソ連) が条件反射の研究を発表する 中央度量衡検定所設立
1904	明治 3 7	48	日露戦争 中野電信隊において陸軍のために気球の研究に従事 航空の研究 全国地磁気測定の成果を発表 高度による磁力変化の研究 地磁気測量法を海軍水路部を指導	←田中館の研究と戦争により磁力変化の重要性を認識、海軍水路部における大規模な地磁気測量事業が始まる(11)	日露戦争がおきる→日本の国際的地位の向上 ロシアに宣戦、2 0 3 高地、日本海海戦 日本海海戦に初めて無線電信を活用 奥羽線全通 フレミング(イギリス) が真空管を発明する
1905	明治 3 8	49	駒ヶ岳爆発調査(8) ローマ字ひろめ会結成	田丸卓郎ニュートン祭でローマ字論発表、日本式ローマ字を主張	アインシュタイン(スイス) が特殊相対性理論を発表する
1906	明治 3 9	50	日露戦争における功績より勲二等旭日章を授けられ、金 1 5 0 0 円を下賜される(4) ル・ブリュール来日 (8/26) 帝国学士院会員被仰付(9)	大学卒業式に明治天皇天覧ご説明(7)	クッシャー(アメリカ) が電気洗たく機を発明する 朝永振一郎誕生 (～79)
1907	明治 4 0	51	帝国学士院会員となる 万国度量衡会議常任委員に選ばれる(6) パリにおける万国度量衡会議第 4 回総会 (CGPM)に列席 (8) イギリス人F.W.ランチェスターから著書「航空力学」を贈られる フレデリック・欧米各国における計器及び精密機械製作並びに電気単位に関する調査を行い、本邦において比較のためにドイツ、アメリカ、イギリスの研究所より標準電池を持ち帰る(10)		「科学世界」がライト兄弟を紹介、飛行機概念が伝わる 海上地磁気観測船ガリレイ豪横浜に寄港、東京帝国大学で田中館の器械と同時比較実験を行う 小学校令改正 (義務教育 6 年となる) 東北帝国大学設立 湯川秀樹誕生 (～81) ブルゲー、コルニュ (フランス) がヘリコプターを発明する メンデレーエフ没 (1834～ロシア) ケルビン卿没 (ウィリアム・トムソン1824～イギリス)
1908	明治 4 1	52	帰国(1)長持ちを転用した風洞利用し翼やプロペラを研究 (風筒と呼んだ)		池田菊苗(日本) がうまみ調味料を発明する

愛橘は弟子と共に現地調査に行き、岐阜県の根尾谷で、高さ 6 メートル、横ずれ 2 メートルもの大断層を発見します。(根尾谷大断層)

人口密度の比較的小さい地域にも関わらず、死者は 7,273 名、負傷者 17,175 名にも達しました。被害の大きさに胸を痛めた愛橘は直ちに寄付金を送っています。



震災の余りの悲惨さを目の当たりにした愛橘は、「地震そのものを防ぐことはできないが、被害を少なくするための研究をすべき」と考えます。

帰京後、理科大学学長の菊池大麓に「国家による防災研究の必要性」を強く訴えます。

やがてその訴えが「震災予防調査会」として実

現すると、愛橘は自ら「地震駆けつけ委員」となって、地震や火山が発生するたびに現地へと駆けつけ、防災の研究を進めていきます。

また、根尾谷の調査では、これまでに調査した結果と、その後の調査との比較研究から、地震によって地磁気が変わることを証明し、世界から驚きをもって受け止められました。

その後も震災予防調査会委員として大活躍し、1896 (明治 29) 年まで 4 年間をかけて、全国の重力と地磁気とを測定するという、大仕事を行っています。また地震学の大森房吉教授が海外出張の 1 年半ほどの間は地震学講座も分担しています。

◆結婚、出産、そして…。◆



教授となって二年後の 1893 (明治 26) 年 4 月、愛橘は本宿キヨ子と結婚します。しかし翌月には火山爆発調査のために「地震駆けつけ委員」として出張したり、震災予防調査会の地磁気測量を行うなど、忙しい毎日に明け暮れました。

翌年 3 月 5 日長女美稲が誕生し、喜びに包まれた愛橘でしたが十日後の 15 日、妻キヨ子は産後の病で亡くなってしまいます。乳飲み子を残された愛橘でしたが、再婚はせず男手ひとつで娘を育てる決心をします。結婚から一年にも満たない幸せでした。

まだ娘の首さえ座らぬうちに、北海道の調査へと旅立つ愛橘は、船の上でこんな歌を残しています。

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1909	明治 4 2	53	勅命により、臨時軍用気球研究会 設立、委員となる(8) 有人グライダー初滑空二成功 (ル・プリウール、相原四郎、田 中館 (12/9・12/26) 日本のローマ字社(N.R.S)つくる	金田一駅開設	鹿児島本線全通 イギリス人ハミルトンが軟式飛行 船で上野上空を飛ぶ。日本人は初 めて飛行船を目にする。 ベークランド(アメリカ) が実用 的なプラスチックを発明する
1910	明治 4 3	54	継母キタ逝去(4) 航空事業視察のため欧州へ派遣さ れる(5/10) ル・プリウール帰国(6) ローマ字新聞創刊(6) 所沢飛行場建設(9) 千里眼の御船千鶴子の実験に山川 健次郎らと立ち会う (9/17)		日野熊蔵と徳川好敏が飛行術研究 の爲渡欧(4) 山田猪三郎の山田式一号飛行船が 初飛行に成功 日野熊蔵、徳川好敏が日本初動力 飛行に成功(12) 九州帝国大学設立 鈴木梅太郎(日本) がオリザニン (ビタミンB1) を発見する
1911	明治 4 4	55	通俗教育調査委員会委員(5) ローマ字世界創刊(7) 水路部における地磁気測定に関す る調査委託 (10)		中国で辛亥革命がおきる 相原四郎リンデンブルクで墜落 (1/4) 没(1/8) オンネス(オランダ) が超電導現 象を発見する アムンゼン(ノルウェー) が南極 点に到達する
1912	大正 1	56			山陰線全通 日本航空協会創立 中華民国成立、清朝滅ぶ ウェゲナー(ドイツ) が大陸移動 説を発表する
1913	大正 2	57	パリ市における万国度量衡会議 (CGPM)第 5 回総会に列席。ギ ル、ストラットン、エゴロフと電 気単位に関する特別委員となる (10) 帰国(12)	馬淵川電気株式会社が六 瀬に発電所設置	帝国飛行協会創立 フォード(アメリカ) が自動車の 大量生産を始める
1914	大正 3	58	文部省測地学委員会委員長(4)		第一次世界大戦はじまる パナマ運河が開通する
1915	大正 4	59	貴族院有志のために航空機の発達 および研究の状況を講演(6) 「航空機講話」発行(11) 日本のローマ字社財団法人となる	電灯が初めて二戸につく	早川徳次(日本) がシャープペン シルを発明する

「家思う 心移して 国のため つくせといいし 妹はいつくに」

◆木村栄（ひさし）と水沢緯度観測所◆

1898（明治 31）年、愛橘は木村栄（きむら・ひさし）を連れて、シュトゥットガルト万国測地学協会総会に列席します。世界共同の緯度観測所が、北緯 39 度 8 分の線上の 6 ケ所におかれることになり、日本も引き受けることになり、二人は会議に出席します。後、二人は欧米各国を視察し帰国します。

愛橘は水沢に緯度観測所を作ることを決め、その初代所長に木村栄を指名します。翌年から木村は、岩手県水沢で緯度経度の観測を行いますが、一年後調査結果を送ると、中央局から、「日本の調査報告はおかしいので、評価は 50 点だ」とされます。

この結果に困惑した木村は愛橘に相談します。愛橘はその時風邪で寝込んでいましたが、直ちに水沢に飛びました。

長岡半太郎は木村の仕事に納得できず『国辱ものの失敗だ』とののしったとも伝えられますが、愛橘は観測機械を分解検査し、十分に精度も確認したうえで、「大丈夫だ。そのまま観測を続けなさい」と木村を励まします。

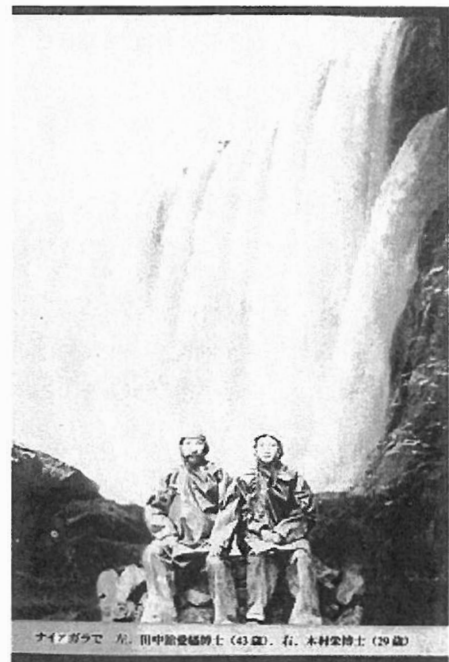
何故日本のデータがおかしいとされたのか、木村は途方に暮れ、必死でその原因を追究しました。

苦しみ続ける木村を見かねた緯度観測所の職員が、ある日気晴らしにと木村をテニスに誘います。テニスでひと汗流した木村は、ふと改めてデータを眺めるうちに、実際の緯度の変化に「観測点の経度によらない項を付け加える必要がある」のではないかと思いあたります。

木村はデータを見直し研究の結果、計算には新たな項が必要なことを発見します。

木村がこの発見を愛橘に報告すると、愛橘は木村の正しさを確信し、中央局がこの発見をうやむやにしないように、まず論文を発表してのち中央局に報告するようアドバイスしました。この発見は「木村の Z 項」と呼ばれ、中央局にも認められました。それまでの観測結果を木村の式で見直したところ、水沢の観測精度は世界一だとわかったのです。

Z 項の発見は、当時の日本における「初めての世界的業績」と高く評価されました。木村の発見が「日本人の誇りを守った」「日本人は決して西洋諸国に劣らない事を証明した」と誰もが誇りに思い喜びました。水沢ではちょうちん行列で祝ったといひます。木村はこの功績によって学士院恩賜賞、文化勲章ともに日本で第 1 号の受賞者となっています。その功績に愛橘の支えがあったことを忘れることはできません。



ナイフガラで 左、田中館愛橘博士（43 歳）、右、木村栄博士（29 歳）

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1916	大正 5	60	東京帝国大学航空学調査委員長(4) 勲一等瑞宝章(5) 在職 25 年祝賀会、同日大学教授 辞表提出(10) 九州帝国大学における航空力学講 義嘱託(10) 自転車の事故にて大腿骨を折る (12)	秀三、美稲と婿養子縁 組、婚姻届出 (1/14) 在職25年祝賀会(10/7小 石川植物園)	アインシュタイン(スイス) が一 般相対性理論を発表する
1917	大正 6	61	依願免本官、辞職が聴許され名誉 教授の称号を授けられる。特旨を もって正三位に叙せられる(4) 臨時軍用気球研究会委員(4) 東京帝国大学名誉教授(6) 海軍技術本部において航空機に関 する業務嘱託(8) パリ万国度量衡会議	美稲長女多加子誕生 (6/22・本郷区弥生町)	本多光太郎 K S 磁石鋼の発明 菊池大麓没 (63) ロシア革命おきる
1918	大正 7	62	海軍省臨時潜水航空機調査会事務 嘱託(1) (東京帝国大学航空研究所創立) 顧問嘱託(4) 国際学術研究会議のため欧州各国 へ出張(5) 海軍省より欧米における航空機研 究現況及び航空機、特に海軍用飛 行機発達の傾向調査を嘱託(5)		米騒動おきる 東京深川区越中島に東京帝国大学 付属航空研究所設立 大学に航空学科が出来る
1919	大正 8	63	航空条約締結のため臨時外務省の 事務嘱託(3) パリ市における万国度量衡常置委 員会議列席 (定員集まらず) (4) 農商務省により度量衡に関する事 項の調査嘱託(4) ブラッセル市における第一回国際 学術研究会議及び地磁気、空中電 気国際会議に列席、後者の会長と なる(7) 昨年 5 月より海外出張中の所帰国 小石川区小日向台町へ転居(12)		(第一次世界大戦、講和条約が成 立(6))

◆ 気球と重力と日露戦争 ◆

1904 (明治 37) 年、日露戦争(日本とロシアとの戦争) が起こります。陸軍中野電信隊では 203 高地などでの敵情視察のために気球を上げて確認し、電信で伝えれば役立つと考えました。

しかし、現実には気球を上げることも大変で、困ったあげく東京大学に相談しました。これに応じた愛橘が確認に行ってみると、「どうも理屈に合わない事をやっている。しかし上官に部下の前でそれを言っては悪かろうと、別の場所に呼んでアドバイスをした。その通りやってみたら上手くいったと喜ばれ、以来軍からあれこれと声がかかるようになった」といいます。愛橘と航空との関係はこうして始まります。

一方愛橘は、全国の重力測定を行っていましたが、海軍がロシアに向かう際、そのデータが大いに役立ったと言われ、以後重力測定は海軍水路部で行うことになりました。この時海軍への指導も愛橘が行っています。

田中館愛橘は、日露戦争に功績があったとして、勲二等旭日章を授けられ、金 1,500 円を下賜されています。

◆ 空の時代の始まり ◆

1907 (明治 40) 年、愛橘はパリの万国度量衡会議に出席します。この出張でランチェスターから著書「航空力学」を送られ、愛橘は大変興味を覚えました。翌年帰国すると、さっそく長持ちを転用した風洞を作り、プロペラや気流の研究を始めました。

1909 (明治 42) 年、勅命により「臨時軍用気球研究会」が設立されました。陸海軍と共に、愛橘ら学者も加わった航空研究が始まります。

しかし、当時の人々はまだ飛行機が飛ぶのを見たことさえなく、「航空機の研究などはキチガイのやることだ」と陰口さえ言われた時代でした。

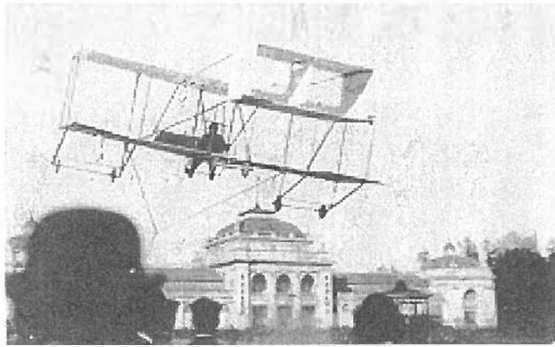
それでも愛橘は、「これからは飛行機の時代だ」と確信し、研究を進め、西洋の航空事情を調べ、つぶさに視察を行うなどして、日本の航空機発展のための基礎作りを進めていきました。

軍部には実績を急ぐあまり、飛行機が飛びさえすればそれでよい。飛行機は輸入でも何でも構わないとする意見もありました。しかし愛橘は、基礎研究こそ重要と考えて、独自に飛行機の研究をつづけました。

そんな折、海軍の相原四郎が、フランス人武官ル・プリウールを連れて、会いにやってきました。相原は、プリウールが一人で飛行機をつくり、飛ばそうと苦勞しているので力を貸してほしいと訴えました。

話すうちにすっかり意気投合した愛橘は、三人で協力してグライダーを製作することに決めました。愛橘はポケットマネーから 19 円を支払い、グライダーは全部で 50 円で完成しました。

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1920	大正 9	64	逓信省航空事業調査委員会員(1) 東京帝国大学航空研究所業務嘱託(3) 陸軍省より航空機に関する調査研究業務嘱託(4) 外務省より航空条約のために臨時平和条約事務局の事務嘱託(4) 文部省測地学委員会委員(6) パリ市における万国度量衡委員会議及びミラノ市における国際連盟協会会議に列席(9) 対ドイツ平和条約締結の功による金杯一組を賜る(9) 学術研究会議会議員(11)	田丸卓郎の謝恩会で、日本のローマ字社の「Ro^mazi no Uta」が披露された	航空研究所設立 国際連盟が成立する 国際連盟に正式加入、常任理事国となる アメリカで世界初のラジオ放送局が放送をはじめ
1921	大正 10	65	帰国(1) 航空評議会評議員 日本ローマ字会創立 小石川区雑司ヶ谷町へ転居(7) パリ市における万国度量衡会議第6回総会 (CGPM)に列席 欧米航空事業調査(9)	原敬東京駅で暗殺される	東京帝国大学付置航空研究所に格上げされる バンチング(カナダ) がインシュリンを発見する・アンダーソン(スウェーデン) が北京原人を発見する ※第44回帝国議会にメートル法を主とする度量衡法改正を提出、可決。
1922	大正 11	66	アインシュタイン、ノーベル物理学賞受賞直後に来日日本各地で講演 相対性ブームとなる(田中館の居た教授室が東大での控室になる)		国際学術研究会議の相談により、水沢が緯度変化の中央局となる(1936年まで) カーター(イギリス) らがツタンカーメンの墓の発掘をおこなう
1923	大正 12	67	東京帝国大学より欧州在留中航空研究所の図書機械購入及び物理実験室の設計並びに図書機械など設備に対する調査を嘱託 農商務省より度量衡に関する事項の調査嘱託(7) パリ市における万国度量衡常置委員会議及び物理学会に列席(9)	秀三、美稲協議離婚届出(4/12) 愛橘隠居届届出 秀三家督相続届出(4/21)	関東大震災(9月1日) 震災により航空研究所焼失、東京目黒区駒場へ移転する 寺尾寿没(69) 大森房吉没(56) プラテン、ミュンター(スウェーデン) が電気冷蔵庫を発明する レントゲン没(1845～ドイツ)



いよいよグライダーの試験飛行です。愛橘は当時一高校長だった同郷の新渡戸稲蔵の協力によって、第一高等学校の校庭で行ないました。

ところがいくら試してみても大人が乗って飛ぶことはできません。それならば、試しに子供を乗せたところ、グライダーは見事に滑空に成功しました。

日本人の初飛行は子供だったのです。

「これなれば車で引っ張れば大人でも飛ぶに違いない」という見通しが出来た三人は、自信を深め、更に研究を重ね、実験を進めます。

12月9日、3人は上野不忍の池のほとりでグライダーの滑空に挑戦します。この時の操縦者はル・プリウールでしたが、車で曳かれたグライダーは、プリウールを乗せたまま見事に舞い上がりました。日本初の滑空を見事に成功させたのです。

つづいて、相原四朗がグライダーに乗り込みましたが、車で曳かれた綱が切れ、機体は大きく傾きグライダーは不忍池に墜落しました。

相原は幸い無事でしたが、日本人の操縦による成功ではなかったためか、この初滑空が広く認められることはありませんでした。

(※プリウールの「グライダー復元機体」と「航研機」が青森県三沢市の航空博物館に展示されています)

◆軍用気球研究会◆

1910(明治43)年、日本初の飛行場が所沢に建設されます。愛橘は候補地の選定に関わり、航空に必要な関連施設や、気象学をはじめ必要な学問を調べ充実させていきました。



12月、輸入機ではありませんでしたが、代々木で日野熊蔵と徳川好敏が日本初の動力飛行に成功しました。この時にも愛橘は車で飛行機に伴走するなど、様々なサポートを行い成功に導いています。

日本初飛行成功の陰には

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1924	大正 13	68	帰国(2) マドリッド市における第二回測地学、地球物理学国際会議に列席(9) 本邦学術研究会議を代表しロンドンにおけるケルビン 100 年記念会に列席 北欧航空事業視察 英米観測所視察	町立福岡実科女学校創立 (後に福岡高等学校に統合) 国分謙吉滝沢に農場を開く	メンデンホール没 (1841～アメリカ)
1925	大正 14	69	文部省学術研究会議副議長(4) パリ市における万国度量衡常置委員会及びブラッセル市における航空連盟会議と国際航空委員会会議に航空評議会代表として列席、標準大気改正案提出(7) 外務省より国際航空委員会関係事務を囑託(10) 貴族院議員 (帝国学士院代表) (10)	福岡に初めて電話、ラジオが入る バスが通る 町立浄法寺図書館完成	地震研究所設置 東京放送局ラジオ放送開始 ベアード (イギリス) がテレビ放送をおこなう
1926	昭和 1	70	郷里福岡町にて古稀祝賀会(4) パリ市日本大使館における国際航空委員会に日本政府派出員の団長として列席。ロンドンにおける国際学術研究会議の準備委員会に列席(5) ブラッセルにおける国際学術研究会議の準備委員会に列席(6) 震災予防評議会評議員(6) 太平洋学術会議副会長(10) 鉄道駅名綴り方を日本式に改めるよう山川健次郎以下 20 余名とともに建議する(12)	小田島禄郎「岩手考古図集」を出版する	
1927	昭和 2	71	ゼネバ市における国際連盟知的協力委員会およびローマにおける国際航空委員会に列席(7)、フラーグ市における第三回測地学地球物理学国際会議に列席(8) パリ市における第 7 回万国度量衡会議総会 (CGPM) に出席(9)		東京地下鉄開通 (上野、浅草)

1916(大正 5) この年愛橘は、東京大学在職 25 年と還暦を迎えました。弟子たちによって「田中館愛橘博士在職二十五年祝賀会」が東京上野小石川植物園で行われました。演壇に上った愛橘はぐらりと見まわし、それから挨拶を述べました。



25 年祝賀会に贈られた博士の肖像画

「諸君！（しばし無言ののち、ハンカチで涙を拭きました）私は、これを二十五年コンマゼロの記念会として謹んでお受けいたします。

明治二十四年、初めて教授になって以来、何等学会に貢献もせずに今日を迎えた私に、このような盛大な祝賀式は身に余る光栄で感謝の言葉ありません。

私は六十才になりましたが、こんただ年寄りが教授の席にあって、万一皆さんの期待にお応えができなくていけません。

私のような浅学の者が大学教授の席を汚して居られたのは、ただ日本に学者が少なかったという『時代のせい』です。だども、今では立派な学者が大勢うまれました。年寄りが若い人

に変わってもらうのは当然であると考えました。それで、今日ここへ来る前に辞表を山川総長に提出致しました。今夜は、私にとっては名残惜しきお別れの記念会であります。どうか私の願いを容れて辞職をお許し下さい。」

この挨拶を聴いた一同は仰天しました。当時の大学には定年制というものが無く、また愛橘の活躍はこれからだと思われていたので、誰一人辞表を提出するなど思いもよらなかったのです。人々はこぞって辞表の撤回を求めました。

しかし愛橘の決意は固く揺るぎません。結局愛橘の辞表は認められましたが、それでも進行中の「航空研究所」の設置に関わることが条件とされました。

田中館愛橘のこの辞表騒ぎは、東京大学に定年制を導入するきっかけとなりました。

◆定年後からの活躍◆

東京大学を辞めた愛橘でしたが、前にも増して多忙を極めていました。辞めるときの条件だった、東京大学航空研究所での飛行機の研究を推し進め、飛行機の国産化の為に必要な組織をまとめ、技術開発や人材教育を進めました。

一方で愛橘は、日本代表の科学者として毎年のように海外へ出かけました。それは 62 歳から 79 歳までの実に十七年間に渡って続けられました。海外での博士の仕事は、国際連盟知的協力委員会など、様々な国際会議に出る事でした。

その一方で、当時の日本には無い最先端の精密機械、工作機械を買ってきたり、学術書・

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1928	昭和3	72	航空事業にたいしフランス政府より贈られたグランオブシエー、ド、ラ・レジオン、ドノール勲章を受領(1)、ブラッセル市における航空連盟会議に列席(6)、ライデン市における国際天文学会、ブラッセル市における国際学術研究会議、ゼネバ市における国際連盟知的協力委員会に列席(7)、ベルリン市における議院会議に帝国貴族院代表として列席(8)	寅士郎没 (7/31)	野口英世アフリカで病没 (53) ドルー (アメリカ) がゼロハンテープを発明する
1929	昭和4	73	パリ市における万国度量衡会議、コペンハーゲンにおける国際航空連盟会議、アーヘンにおける航空学会に列席(6) ゼネバにおける国際連盟知的協力委員会に列席(7) ゼネバにおける議院会議に列席(8) コペンハーゲン市における国際気象学会に列席(9)	タクシー営業開始	世界大恐慌がおきる フレミング(イギリス) がペニシリンを発見する
1930	昭和5	74	ゼネバにおける国際連盟協会及びパリにおける国際航空連盟会議に列席し、コンスタンチノブルにトルコ政府のローマ字委員を訪問(6) ゼネバにおける国際連盟知的協力委員会およびロンドンにおける議院会議に列席(7) ストックホルムにおける第四回測地学地球物理学国際会議およびレニングラード (現サンクトペテルブルグ) における極年観測準備委員会に列席(8) ハーグにおける国際航空委員会会議およびボツダムにおけるドイツ地球物理学会に列席(9) 文部省臨時ローマ字調査会委員(11)		ローウェル天文台 (アメリカ) が冥王星を発見する バーズアイが (アメリカ) が冷凍食品を発売する

専門書、技術書を購入して日本に持ち込んだりしています。日本からヨーロッパへ、船なら 40 日以上もかかった時代に、愛橘はいち早く、世界最新の情報を日本に伝えました。

◆ 地球をまわるもう一つの月 ◆

毎年のように外国を訪れる博士の事を、ある科学者がこう言いました。

「地球には二つの衛星がある。一つはもちろん月だ。そしてもう一つは田中館だ。」

田中館は毎年、地球を一回りしてやって来る。」

「地球を回る日本人」田中館愛橘博士は生涯に 22 回の海外出張をこなし、68 回もの国際会議に出席しています。

日本を代表する科学者として、時にはあたかも外交官のように、多くの国の人たちと交流し、日本の気迫を伝えたのです。

日本に帰れば、東大航空研究所、そして貴族院議員も務める忙しさです。海外出張に飛び回っていたその半分は、70 歳を超えてからの旅であり、今ほどに航空機など発達していない時代なのですから、その元気に驚かされます。



◆ ふるさとの人々との交流 ◆

最晩年の愛橘は、夏になるとふるさと二戸に帰り、秋祭りが終わるまでを過ごしました。

ふるさとでは多くの人たちと交流し、会話や郷土料理を楽しみました。博士の好物は「あずきばつと」や「南部せんべい」で、時にはお酒も楽しんだといひます。

普段はパジャマ姿で過ごし、毎日二時間ほどの散歩と、のんびりとお風呂に入るのが日課だったといひます。

娘の美稲さんに寄り添われながら、杖をついてゆっくり歩く博士の姿を、町の人々は「おらほの町のおじいさん」と呼んで愛し、笑顔で見守りました。

九戸城跡を一周し散歩がおわるころには、あちらこちらの人々から花や果物などをもらうので、美稲さんは慣れない二戸弁を一生懸命まねてお礼や会話に努めたといひますが、東京で生まれ育った美稲さんの二戸弁は微妙で、それがまた微笑ましかったそうです。



西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1931	昭和6	75	万国度量衡会議常置委員を辞す。 同名誉委員になる(4) ゼネバにおける国際連盟知的協力 委員会に列席(7) 第2回言語学国際会議に列席(8) パリ市における国際地理学会に列 席(9)		満州事変がおきる 東京帝国大学航空研究所創設 エジソン没 (1847～アメリカ) 山川健次郎没 (77)
1932	昭和7	76	10月まで、ゼネバにおける国際 連盟知的協力委員会、およびスケ ブニンゲンにおける国際航空員会 に列席(7) アムステルダムにおける音声学会 に 列席(7)		田丸卓郎没 (61) ルスカ、クノール (ドイツ) が電 子顕微鏡を発明する
1933	昭和8	77	御講書始において航空機発達史の 概要を進講(1) ゼネバにおける第15回国際連盟 知的協力委員会に出席(7) リスボンにおける第5回測地学地 球物理学国際会議およびローマに おける第3回言語学国際会議に列 席(8)	県是 (のち片倉) 製糸福 岡工場設立(二戸) 三陸沖地震津波(3/3) 釜 石東方沖震源、M8.3、津 波 (死者1,408人、行方 不明者1,263人、流出倒 壊家屋5,435戸)	ドイツヒトラー内閣成立 ツオルキン (アメリカ) がテレビ 撮像管を発明する 藤沢力太郎没 (72)
1934	昭和9	78	満州国建国功労章を受ける(3)	凶作おこる 小田島禄郎発掘の貝塚が 国史跡に指定される	湯川秀樹 (日本) が中間子論を発 表する 日米間無線電話開通
1935	昭和10	79	パリにおける天文学会、ロンドン における第二回国際音声学会議及 びブリュッセルにおける第31回 議院会議に列席(7) ワルシャワにおける気象学会に列 席(8) デュヴロニックにおける国際航空 連盟会議に列席(9) ロンドンにおける第14回議院商 事会議および第25回列国議会同 盟会議に列席(10)	九戸城、国の史跡に指定	スタンレー (アメリカ) がタバコ モザイク病ウィルスを結晶化する 寺田寅彦没 (58) 木村栄没 (73) ※この頃東京～パリ間は航路で4 0日、シベリア鉄道経由で15日
1936	昭和11	80			フォッケ (ドイツ) が実用的なヘ リコプターをつくりだす
1937	昭和12	81			日中戦争はじまる 朝日新聞神風号FAI公認長距離、 速度記録樹立 ホイットル (イギリス) がジェッ トエンジンを発明する

ともありました。博士の講演は非常に印象深いものだったそうで、地元には今なお当時の様子を嬉しそうに語ってくれる人々が沢山いるのです。

「みんなもしっかり勉強して博士になろう！」と皆で盛り上がった学校さえありました。博士との記念写真は、子供だった多くの人々の宝物となり今なお大切にされています。

ふるさとでの博士は、家に帰ればタイプライターに向かい、あるいは洋書を読んで熱心に勉強を続けていました。議会や学士院などの大事な会議には列車で東京に通いましたが、上京するにも一昼夜かかった時代でしたから、常に美稲さんが大きな荷物を抱えながら同行し、会議に臨んだといひます。

◆ 岩手県人初の文化勲章授章 ◆

1944(昭和 19)年、田中館愛橘博士は「物理学と航空学」の功績によって文化勲章を授賞しました。(88 歳)

物理学も航空学も、それまでの日本には無かった学問でした。博士が物理学を選んだ時には「そんなものを選んで、どうやって飯を食う。やめておけ」と言われました。飛行機の研究を始めると「そんなものはキ印(きちがい)の研究するものだ」と笑った人もいたといひますが、その時代に先駆けた学問、しかも実用となるはずの学問を大事だと思った博士は、周りがなんと言おうと、信じた研究を続ける、強い意志の人でもありました。ただ研究するばかりでなく、その研究が(日本にとって)本当に必要だと思ったことには、命がけで取り組んだ博士でした。

ある弟子の学者は「田中館先生は『見通しの達人』だった。先生が選んだことのすべてが正しかったことは、今をみれば誰でもわかる」と博士の素晴らしさを称えています。



◆ 日本式ローマ字 ◆

田中館愛橘博士が最も長い間取り組んだ仕事といえば「日本式ローマ字」を忘れることはできません。まさにその普及は生涯をかけた大仕事であり、愛橘の悲願でもありました。貴族院議員を務めた際には必ず「日本式ローマ字の導入が必要」と訴え続けたといひますし、各種の講演会などでも最後には「それだから日本式ローマ字は必要だ」となるのは有名な話だったといひます。

ある時、「航空の話をお願いしたいが、ローマ字の話はご遠慮頂きたい」という講演依頼があり、それを聞いた愛橘は「それならばお断りする」と即座に答えた程の徹底ぶりでした。(昭和天皇に航空機の話を上上げた際は、『講演を終えてそのまま下がろうとする

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1938	昭和13	82	随筆集「葛の根」発行(4) 科学振興調査会委員 航空機製造事業委員会委員 航空機技術委員会委員(8)		ラジウム発見40年記念祭の日に 祝辞をパリに放送する(田中館愛 橘) 航研機がFAI航続距離世界記録を 更新する レイマン (アメリカ) が蛍光灯を 発明する・カールソン (アメリ カ) がアコピーを発明する カロザース (アメリカ) がナイロ ンの製造に成功する
1939	昭和14	83	中央航空研究所施設委員会委員(8) 貴族院議院 3 選(10)	省営バス二戸線 (福岡～ 浄法寺～荒屋新町) が開 通する	第二次世界大戦はじまる 毎日新聞社飛行機ニッポン号世界 一周成功
1940	昭和15	84	帝国学士院第二部部長(1) 航空機製造事業委員会委員 航空機技術委員会委員(9)	金田一で大火発生 町制施行し浄法寺町とな る	
1941	昭和16	85	文部省学術研究会議会員罷免(4)		太平洋戦争がはじまる、緒戦の勝 利 関門海底トンネル開通
1942	昭和17	86		県立福岡病院開院 田中館秀三シンガポール に入り植物園施設を守る	ブラウン (ドイツ) がV 2 号ロ ケットをつくりだす フェルミ (イタリア) が世界初の 原子炉をつくりだす
1943	昭和18	87	田中館博士記念事業会結成(1) 六義園において米寿の祝賀会(9) 雑司ヶ谷邸において米寿の賀会 (11) 軍人会館において田中館博士記念 事業会の記念講演会(12)		戦況の悪化、情勢の暗転、敗戦 木村栄没 (74) ピロ (ハンガリー) がボールペ ンを実用化する ワクスマン (アメリカ) がスト レプトマイシンを発見する
1944	昭和19	88	朝日新聞社朝日文化賞贈呈(1/25) 文化勲章授章(4/29)	田中館愛橘文化勲章を受 章	田中館秀三昭和新山の調査を行う 東京初空襲
1945	昭和20	89	郷里福岡町に疎開(3) 本邸は空襲による火災のために消 失(5)	原子爆弾が広島、長崎に 落とされる	日本無条件降伏 第二次世界大戦がおわる、国際連 合成立 アメリカで電子計算機エニアク が完成する 原子爆弾が広島、長崎に落とさ れる 航空に関する研究の禁止命令
1946	昭和21	90			日本国憲法発布 フォードの自動車工場にオート メーションが導入される

愛橘に「田中館、今日はローマ字の話はいいのか」と陛下がお尋ねになった』というエピソードさえ残っていますが、残念ながらこの話を証明する資料を探せずにおります)

「日本のローマ字運動の父」と呼ばれた田中館愛橘ですが、提唱した「日本式ローマ字」は、1885年(明治 18 年)、理学協会雑誌第 16 巻に発表した「本会雑誌ヲ羅馬字ニテ発兌スルノ発議及ビ羅馬字用法意見」が基となったといわれ、更にその翌月、同雑誌に発表した「発音考」がその理論的裏付けとなりました。愛橘が 29 歳の頃です。

愛橘はその後も絶え間なく日本式ローマ字の運動を続けてきました。1909 年(明治 42 年 7 月 10 日)には、財団法人日本のローマ字社をつくり、みずからも理事として活動しました。

この結果、アメリカ・ロサンゼルスに日本のローマ字社の支社ができたのをはじめ、各地に日本式ローマ字の運動団体が多数できました。その中心団体として〈社団法人日本ローマ字会〉(1921 年 1 月、大正 10 年)ができ、初代会長として長年にわたり活躍し、晩年には名誉会長となって、一生をローマ字運動につくしています。

Tanaka Akiyoshi - A.

愛橘が作詞したローマ字の歌は、(社)ローマ字会の会合の度に歌われたといいますが、その歌詞は『言霊の咲きおう国の日本語 日本語をローマ字で 日本式のローマ字で』に始まり、『世界に広めん日本語』と歌われます。

つまり、正しい日本語をアルファベットで世界に伝えるための「日本式ローマ字」であり、ひらがなやカタカナに続く第三の日本語として理論的に考え出されたローマ字だったことがわかります。発音だけをまねたものでなく、きちんと 50 音表にも対応し、日本語として正しく伝えるための文字の切り離しなど、十分に検討されたものだからこそ、ほぼそのまま訓令式として国家にも認められました。(1954 年)

日本語がそのまま世界語の一つになることが愛橘の夢であり、世界に伍するために日本式ローマ字が必要と考え生涯を捧げたとしたら、何と壮大な志と働きでありましょうか。

◆さようなら愛橘先生◆

1952(昭和 27) 年 5 月 21 日。田中館愛橘博士は 95 歳 7 か月の生涯を終えました。

亡くなる一週間前までは元気で、会議などにも出席していたといいますから驚きます。博士が危篤に陥ったという情報は大きく報道され、博士が亡くなるとラジオの臨時ニュースが流れました。田中館博士のお葬式は学士院葬となり、



東大安田講堂での学士院葬

西暦	和暦	年齢	愛橘に関わる出来事 (月/日)	二戸・岩手の出来事	日本と世界の出来事
1947	昭和22	91		国分謙吉、初代公選知事に当選、わらじ履きで県内をめぐり総合開発により台風の大被害を救済・カサリン台風	アメリカ、ソ連冷戦はじまる アメリカで電子レンジが発売される
1948	昭和23	92	自著「時は移る」を発行	県立福岡高等学校浄法寺分校が開校する	ショックレー（アメリカ）らが I C（集積回路）を発明する 今村明恒没（78）
1949	昭和24	93			湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞・中華人民共和国成立、NATO 成立
1950	昭和25	94	日本物理学会名誉会員	県立浄法寺農場が設立される	朝鮮戦争はじまる 長岡半太郎没（85）
1951	昭和26	95	福岡町（現二戸市）名誉町民 文化功労章 田中館秀三没(1/29)		日米安全保障条約締結
1952	昭和27		没（5/21）勲一等旭日大綬章授章、帰郷(6/7)、町葬(6/8)	国分謙吉が馬淵川周辺の名称を馬仙峡と名付ける	民間航空復活
1953	昭和28			国分知事、岩手にジャージ種乳牛移入、畜産農の基礎をつくる	NHK テレビ放送開始 ワトソン（アメリカ）らが DNA の分子構造を解明する
1957	昭和32			博士のお基建つ	
1987	昭和62			国立科学博物館に預託中の「田中館愛橘資料」を受託し、二戸市歴史民俗資料館に収蔵（3）	
1999	平成11			二戸市石切所荷渡に二戸市シビックセンター落成 3階に田中館愛橘記念科学館開館する	
2002	平成14				田中館愛橘文化人切手に採用
2006	平成16				小惑星10300 tanakadateと命名（関勉氏1989年3月6日発見）
2014	平成26			二戸市名誉市民	
2016	平成28			田中館愛橘像建立	

5 月 26 日、東京大学安田講堂で行われました。安田講堂でのお葬式は後にも先にも博士ただ一人といいます。

そして 6 月 7 日、博士の遺骨は故郷に帰ってきました。翌 8 日、福岡町(現二戸市)名誉町民でもある田中館博士の町葬が福岡中学校の校庭でおこなわれました。

1,000 人(一説には 2,000 人)もの人々が参列し、静かにお葬式が行われました。

この様子を東京から来たある博士が、「時間が遅れる事もなく、粛々と葬儀が行われた。さすがは博士のふる里だ」と、人々の整然としたふるまいに驚きを述べています。



私たちの町の先人田中館愛橘博士の一生は、故郷の人々に見守られて終わりましたが、故郷の人々の心の中に確かに愛橘博士は生きています。

田中館先生の精神に学ぼう、続こうという人々は今なお多く、私たちの心の支えになっているのです。

二戸に生まれ、世界に羽ばたいた愛橘博士を知ること。日本人の誇りを武士の覚悟をもって守り抜いた愛橘博士に学ぶことは今なお山のようにあります。

田中館愛橘博士は私たちの誇りであり、後に続けたいと願う人なのです。

◆ そして博士とともに ◆

平成 28 年 5 月 21 日、二戸市シビックセンター正面に田中館愛橘先生の像が建立されます。新しい二戸のシンボルとして、広く皆様に愛されるよう、子供たちと一緒に記念写真に納まるよう、ゆったりと椅子に座って両手を広げているユニークな銅像が、皆さんをお迎えします。天衣無縫で誰もが大好きになったという愛橘博士の像と、あなたも一緒に一枚いかがですか？

◆ 博士の心を継いで ◆

二戸市シビックセンター 3 階には、田中館愛橘記念科学館があり、博士の業績紹介とともに、子供たちに科学工房などが準備されています。博士の心をついで「科学の心をこどもたちに」体験し育ててもらおうとの願いが込められています。ぜひご覧ください。